令和７年度「養老渓谷温泉郷における域内モビリティ実証事業」概要

養老渓谷駅を起点とする無人貸出・返却型の観光周遊モビリティ

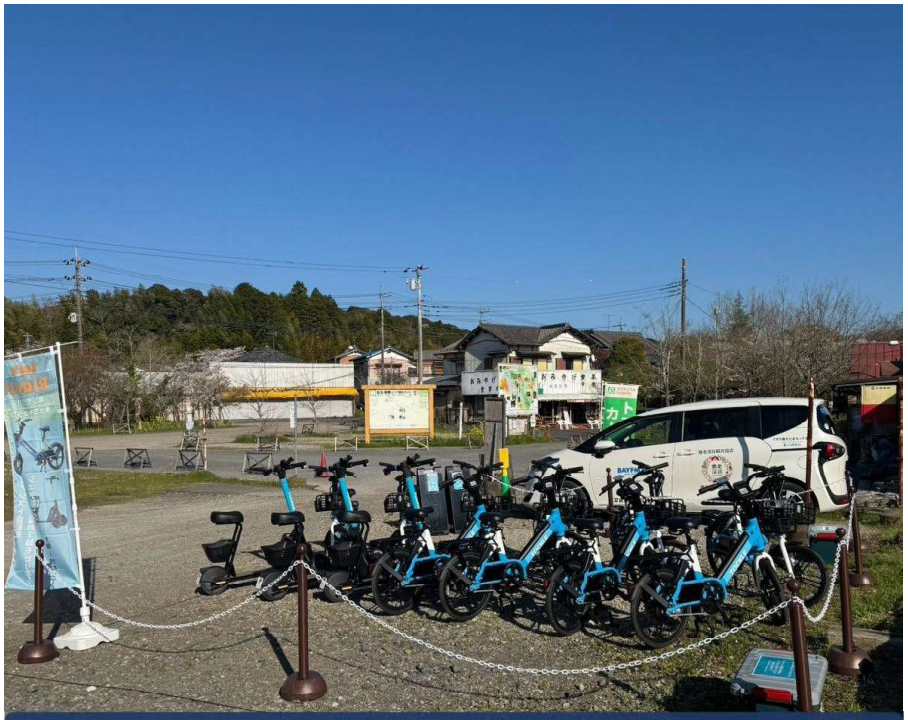
2026
3/28～5/31
実証期間 65日間

13台
自転車10台＋三輪3台

7:00～19:00
基本利用時間

15分 200円
キャッシュレス決済

検証目的：二次交通・観光回遊の需要、車種別特性、利用者評価、安全運用、継続運営・自走化の条件



養老渓谷駅前 1ポート／アプリによる貸出・返却

令和７年度「養老渓谷温泉郷における域内モビリティ実証事業」概要

単一ポート・65日間で、観光二次交通としての基礎需要と高い受容性を確認

368回	329人	44／65日	492,750円	86.2%
累計利用数	ユニーク利用者	利用発生日	売上（税込・調整後）	Like率（206／239件）

実証で確認できたこと

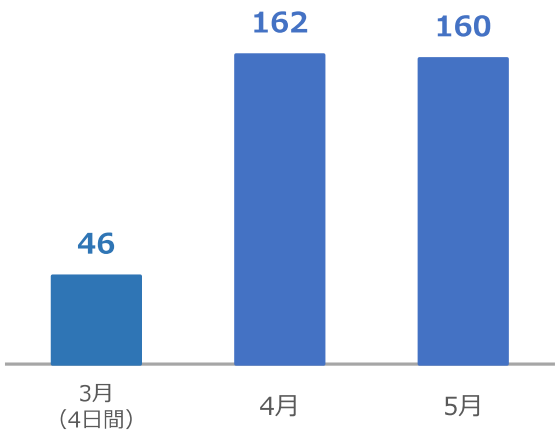
- 養老渓谷駅を起点とした小型モビリティに、一定の利用需要がある
- 土休日・日中の観光行動との親和性が高い
- 自転車と三輪で異なる利用特性が確認された
- 当社把握範囲では、重大事故・人身事故・警察対応・クレーム0件

※Like率は評価回答239件を母数とし、Like206件／Dislike33件。未回答129件。

令和７年度「養老渓谷温泉郷における域内モビリティ実証事業」概要

4月・5月は月160回前後で推移し、11～16時台に全体の85.3%が集中

月別推移



4月 162回／5月 160回

※3月は3/28～3/31のみ

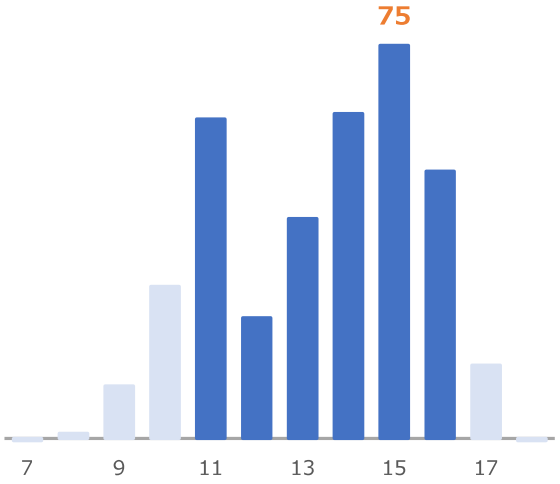
平日／土休日

96回	272回
平日 1日平均2.3回	土休日 1日平均11.3回

土休日の1日平均は平日の約 4.8倍

利用ゼロ日：21日
平日・天候等の影響を受けやすい

時間帯別



11～16時台：314回（85.3%）

最多は15時台：75回

令和７年度「養老渓谷温泉郷における域内モビリティ実証事業」概要

回答51件／有効回答50件。高い再利用・推奨意向と、新たな回遊の可能性

94.0%
再利用意向
4・5評価

92.0%
推奨意向
4・5評価

78.0%
観光目的
39／50件

36.0%
当該立ち寄り先へ
「行かなかった」18件

来訪手段はほぼ拮抗

車 26人　　**電車 24人**

駅からの二次交通だけでなく、車来訪者の現地周遊にも利用余地

利用を後押しした要因

29件
移動手段として便利

19件
景色が楽しめそう

※任意回答・自己選択による偏りを含むため、利用者全体への一般化は行わず、参考調査として扱う。

令和７年度「養老渓谷温泉郷における域内モビリティ実証事業」概要

対応を要した事案は5件・対象8台。重大事故はなく、課題を即時に運用改善へ反映

通信環境

2件／5台

弱電界で再解錠できず
→ 車両に注意表示
→ 対策後は同種再発なし

バッテリー

2件／2台

返却ポート近くで停止
→ 押して返却
→ 二次被害なし

アシスト不具合

1件／1台

地元事業者から連絡
→ 返金・即時回収
→ 修理対応

重大事故
人身事故
警察対応
クレーム

0件

改善課題（複数回答）

16	7	6	4
駐輪場所	料金	坂道	道路安全

次回：安全ルート・駐輪地点・通信注意地点・残量基準を一体で案内

令和７年度「養老渓谷温泉郷における域内モビリティ実証事業」概要

「利用数」「1回あたりの利用・滞在」「経費」を同時に改善する

01 利用数を増やす

- 駅前・案内所での現地認知強化
- 宿泊・温泉・飲食施設との連携
- 平日・団体・イベント需要の創出
- 複数ポート／予約利用の検討

02 1回あたりの利用・滞在を延ばす

- 60分・90分・半日モデルコース
- 安全ルート・坂道・駐輪マップ
- 上限料金・周遊パス
- 立ち寄り特典・店舗割引

03 経費を縮減する

- 地域協働型の日常点検・充電
- 繁忙期／閑散期の台数最適化
- コア車両購入＋繁忙期レンタル
- 遠隔監視・報告業務の簡素化

車両提供型から、地域の観光資源と一体となった「周遊設計型サービス」へ